

後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート結果（速報）【患者】

0. 患者さんご自身について

SC1. 患者さん（お薬を使用する方）の性別を教えてください。（1つ選択）（必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,425	100.0
男性	570	40.0
女性	850	59.6
無回答	5	0.4

SC2. 患者さん（お薬を使用する方）のご年齢を教えてください。（1つ選択）（必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,425	100.0
10歳未満	49	3.4
10歳以上20歳未満	26	1.8
20歳以上30歳未満	98	6.9
30歳以上40歳未満	182	12.8
40歳以上50歳未満	224	15.7
50歳以上60歳未満	261	18.3
60歳以上70歳未満	233	16.4
70歳以上80歳未満	206	14.5
80歳以上	130	9.1
無回答	16	1.1

SC3. お住まいはどちらですか。（1つ選択）（必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,425	100.0
区中央部	100	7.0
区南部	148	10.4
区西南部	109	7.6
区西部	129	9.1
区西北部	168	11.8
区東北部	133	9.3
区東部	127	8.9
西多摩	28	2.0
南多摩	121	8.5
北多摩西部	85	6.0
北多摩南部	100	7.0
北多摩北部	68	4.8
島しょ	2	0.1
東京都外	98	6.9
無回答	9	0.6

SC4. お持ちの健康保険証の種類を教えてください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,425	100.0
国民健康保険(国保)	464	32.6
健康保険組合(健保組合)	455	31.9
全国健康保険協会(協会けんぽ)	286	20.1
共済組合(共済)	23	1.6
後期高齢者医療広域連合(広域連合)	154	10.8
その他	16	1.1
わからない	16	1.1
無回答	11	0.8

SC5. 自己負担額(医療機関や薬局の窓口で支払う金額)がありますか。(1つ選択)
(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,425	100.0
自己負担がある	1,309	91.9
自己負担がない	110	7.7
無回答	6	0.4

1. ジェネリック医薬品（後発医薬品）に関するご経験等について

Q1. このアンケートにお答えいただく前から、ジェネリック医薬品について聞いたことがありますか。（1つ選択）（必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,425	100.0
ある	1,373	96.4
ない	50	3.5
無回答	2	0.1

Q1-1. (Q1で「ある」を選択した方)

知っている内容について教えてください。（複数回答）（必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,373	100.0
先発医薬品と比べて薬の金額が安い	1,275	92.9
先発医薬品と効き目が同じ	874	63.7
先発医薬品の特許が切れたあとに、他のメーカーが製造し販売される薬	734	53.5
国(厚生労働省)で承認された薬	711	51.8
医療費(薬剤費)が節約され、国民皆保険制度を維持するのに役立つ	711	51.8
ジェネリック医薬品が存在しない医薬品もある	704	51.3
先発医薬品と品質・有効性・安全性が同等	568	41.4
先発医薬品と添加物が異なる場合がある	557	40.6
薬によっては、ひとつの先発医薬品に対して、複数のジェネリック医薬品が存在する	548	39.9
製剤技術の進歩やメーカーの製剤開発の工夫により、色や形、味など、飲みやすく改良されているものがある	426	31.0
先発医薬品の製造販売が終了し、ジェネリック医薬品しかない場合もある	250	18.2
その他	17	1.2
特になし	9	0.7

Q1-2. (Q1で「ある」を選択した方)

これまでにジェネリック医薬品を使ったことがありますか。(1つ選択)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,373	100.0
ある	1,262	91.9
ない	64	4.7
わからない	30	2.2
無回答	17	1.2

Q1-2-1. (Q1-2で「ある」を選択した方)

ジェネリック医薬品を使用して良いと感じたことがあればその理由を教えてください。

(複数回答)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,262	100.0
窓口での支払額が減った	861	68.2
わからない	223	17.7
良いと感じたことはない	105	8.3
錠剤の大きさ (※錠剤が小さいなど、工夫されているものがあります)	96	7.6
味が飲みやすかった (※いちごの味がするなど、工夫されているものがあります)	61	4.8
貼りやすい、べとつき感がないなど使用感が良い	25	2.0
服用回数が少なくなった (※1日3回服用が2回で済むものなどがあります)	12	1.0
その他	37	2.9

Q1-2-2. (Q1-2で「ある」を選択した方)

今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更したお薬はありますか。(1つ選択)

(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,262	100.0
ある	1,018	80.7
ない	101	8.0
わからない	99	7.8
無回答	44	3.5

Q1-2-2-1. (Q1-2-2で「ある」を選択した方)

ジェネリック医薬品に変更したきっかけは何ですか。(複数回答)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,018	100.0
薬局からの説明	837	82.2
医師からの説明	118	11.6
テレビCM等の広告を見て	116	11.4
健保組合・区市町村国保等の保険者からのお知らせを受け取って	109	10.7
ジェネリック医薬品希望カードまたはジェネリック医薬品希望シールを受け取って	85	8.3
家族・知人等からのすすめ	83	8.2
ジェネリック医薬品差額通知等を受け取って	82	8.1
薬剤情報提供文書を受け取って	48	4.7
その他	50	4.9

Q1-3. (Q1で「ある」を選択した方)

ご自身からジェネリック医薬品の希望を申し出たことはありますか。(1つ選択)

(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,373	100.0
ない	724	52.7
薬局に申し出たことがある	461	33.6
医師と薬局に申し出たことがある	126	9.2
医師に申し出たことがある	44	3.2
無回答	18	1.3

Q1-3-1. (Q1-3で「医師に申し出たことがある」、「薬局に申し出たことがある」「医師と薬局に申し出たことがある」を選択した方)

どのように申し出ましたか。(複数回答)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	631	100.0
薬局の間診票でジェネリック医薬品を希望した	313	49.6
薬剤師に相談した	292	46.3
診察時に医師に申し出た	132	20.9
薬局に「ジェネリック医薬品希望シール」を貼った保険証やお薬手帳、または「ジェネリック医薬品希望カード」を見せた	76	12.0
医師に「ジェネリック医薬品希望シール」を貼った保険証やお薬手帳、または「ジェネリック医薬品希望カード」を見せた	26	4.1
薬局に差額通知の内容について相談した	26	4.1
医師に差額通知の内容について相談した	6	1.0
その他	9	1.4

Q1-3-2. (Q1-3で「医師に申し出たことがある」、「薬局に申し出たことがある」「医師と薬局に申し出たことがある」を選択した方)

ジェネリック医薬品を希望したのに切り替えられなかったことはありますか。

(1つ選択)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	631	100.0
ある	192	30.4
ない	419	66.4
無回答	20	3.2

Q1-3-2-1. (Q1-3-2で「ある」を選択した方)

ジェネリック医薬品を希望したのに切り替えられなかった理由は何ですか。(1つ選択)

(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	192	100.0
ジェネリック医薬品が存在しない医薬品であるから	95	49.5
ジェネリック医薬品をすぐに取りそろえられないから(在庫がないから)	40	20.8
医師の判断によるから	26	13.5
処方されている医薬品が、すでにジェネリック医薬品であるから	12	6.3
薬局の判断によるから	8	4.2
わからない	5	2.6
その他	6	3.1

Q1-3-3. (Q1-3で「ない」を選択した方)

理由をお聞かせください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	724	100.0
医師や薬局の判断に任せているから	248	34.3
すでにジェネリック医薬品を使用しており、改めて申し出る必要がないから	145	20.0
ジェネリック医薬品を希望しないから	139	19.2
薬のことはよくわからないから	71	9.8
医師や薬局には言いにくいから	6	0.8
その他	36	5.0
理由は特にない	53	7.3
無回答	26	3.6

2. ジェネリック医薬品に関するお考えについて

Q2. 医師や薬剤師の判断で「先発医薬品」が指定される場合がありますが、それ以外は、基本的に患者さんが先発医薬品にするかジェネリック医薬品にするか、決めることができます。

薬局でジェネリック医薬品を勧められた場合のお考えに一番近いものはどれですか。

(1つ選択) (必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,425	100.0
勧められたとおり、ジェネリック医薬品にする	628	44.1
先発医薬品かジェネリック医薬品かは、こだわらない	325	22.8
医師に聞いてから決める	110	7.7
わからない	44	3.1
家族や知人に聞いてから決める	37	2.6
その他	70	4.9
ジェネリック医薬品は使いたくない	167	11.7
無回答	44	3.1

Q2-1. (Q2で「勧められたとおり、ジェネリック医薬品にする」、「先発医薬品かジェネリック医薬品かは、こだわらない」、「医師に聞いてから決める」、「家族や知人に聞いてから決める」。

「その他」を選択した方)

ジェネリック医薬品を使用するにあたって重要だと思うことは何ですか。(複数選択)

(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,170	100.0
効果(効き目)が先発医薬品と同じであること	956	81.7
窓口で支払う薬代が安くなること	733	62.6
副作用の不安が少ないこと	487	41.6
少しでも医療財政の節約に貢献できること	366	31.3
医師や薬剤師のすすめがあること	298	25.5
使用感がよいこと	286	24.4
先発医薬品とジェネリック医薬品について同じ点・異なる点を説明してもらえること	246	21.0
有効成分に加え、添加物や製法も先発品と同じであること	239	20.4
その他	15	1.3
特になし	23	2.0

Q2-2. (Q2で「ジェネリック医薬品は使いたくない」を選択した方)

ジェネリック医薬品を使いたくないと思った理由をお聞かせください。(複数選択)

(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	167	100.0
効き目に不安があるから	91	54.5
使い慣れているのが先発医薬品だから	74	44.3
副作用が心配だから	50	29.9
効き目が悪かった経験があるから	48	28.7
期待していたほど先発医薬品に比べて安くないから	26	15.6
報道等を見て、よくないイメージがあるから	21	12.6
家族や知人から聞いて、よくないイメージがあるから	17	10.2
副作用が出た経験があるから	14	8.4
味や匂いが合わなかったことがあるから	12	7.2
医師のすすめがないから	11	6.6
ジェネリック医薬品を使ったことがないから	9	5.4
自己負担額(医療機関や薬局の窓口で支払う金額)がなく、メリットがないから	9	5.4
薬局のすすめがないから	1	0.6
その他	20	12.0
理由は特になし	2	1.2

3. 今まで受け取ったことがあるものについて

Q3. 今までに受け取ったことがあるものは何ですか。(複数回答)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	1,425	100.0
薬剤情報提供文書	774	54.3
ジェネリック医薬品差額通知等	470	33.0
ジェネリック医薬品希望カードまたはジェネリック医薬品希望シール	443	31.1
受け取ったことがない	240	16.8

4. ジェネリック医薬品に関するご意見等について

Q4. ジェネリック医薬品を使用した感想や、ご意見等がありましたら、お聞かせください。
(自由意見)(任意回答項目)

漠然とした不安感・嫌悪感、効果が不十分であった経験、医師や薬剤師からの説明があれば変更する、医療費負担の軽減のため後発医薬品を使用する 等

後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート結果（速報）【薬局】

0. 薬局について

SC1. 所在地をお答えください。（1つ選択）（必須回答項目）

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
区中央部	86	9.9
区南部	78	9.0
区西南部	92	10.6
区西部	87	10.0
区西北部	115	13.2
区東北部	93	10.7
区東部	64	7.4
西多摩	22	2.5
南多摩	84	9.7
北多摩西部	40	4.6
北多摩南部	62	7.1
北多摩北部	44	5.1
島しょ	1	0.1

SC2. 立地について、もっとも近いものをお答えください。（1つ選択）（必須回答項目）

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
大病院(500床以上)前	37	4.3
中小病院(500床未満)前	80	9.2
病院敷地内	3	0.3
診療所前	326	37.6
診療所敷地内	7	0.8
医療モール内	38	4.4
駅前・商店街	210	24.2
住宅街	151	17.4
その他	16	1.8

SC3. 開設者をお答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
法人	772	88.9
個人	96	11.1

SC3-1. (前問で「法人」を選んだ方)

会社組織についてお答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	772	100.0
株式会社	551	71.4
有限会社	209	27.1
合資会社	1	0.1
合名会社	1	0.1
その他	10	1.3

SC3-1-1. (前問で「株式会社」を選んだ方)

ホールディングス(持株会社)傘下ですか。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	551	100.0
ホールディングス傘下	198	35.9
ホールディングス非傘下	350	63.5
無回答	3	0.5

SC4. 店舗状況についてお答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
グループ20店舗以上の薬局	327	37.7
グループ20店舗未満の薬局	450	51.8
その他	91	10.5

SC5. 規模(令和元年6月分)についてお答えください。(枚・名・期間)(必須回答項目)

	回 答 数	1薬局あたり
回答者数(n)	868	100.0
1ヵ月の処方箋受付枚数	1,180,696	1360.2
薬剤師数 常勤(実人数)	2,248	2.6
薬剤師数 非常勤(実人数)	1,678	1.9
1ヵ月の受付医療機関数	72,349	83.4

1. 薬局の状況について

Q1. 令和元年6月の後発医薬品調剤割合について、お答えください。(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
計数(%) 平均	71.7	
0%・不明	5	0.6
1%以上20%未満	2	0.2
20%以上30%未満	12	1.4
30%以上40%未満	19	2.2
40%以上50%未満	41	4.7
50%以上60%未満	89	10.3
60%以上70%未満	123	14.2
70%以上80%未満	235	27.1
80%以上90%未満	306	35.3
90%以上	36	4.1

Q2. 後発医薬品調剤体制加算について、お答えください。(令和元年6月末日時点)
(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
後発医薬品調剤体制加算1(18点)	183	21.1
後発医薬品調剤体制加算2(22点)	162	18.7
後発医薬品調剤体制加算3(26点)	139	16.0
届出(算定)なし	384	44.2

Q3. 応需している処方箋の主な医療機関をお答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
近隣にある特定の病院	139	16.0
近隣にある特定の診療所	358	41.2
複数の近接する特定の保険医療機関 (いわゆる医療モールやビル診療所など)	69	7.9
様々な保険医療機関	290	33.4
その他	12	1.4

Q4. 令和元年6/9(日)~6/15(土)に受け付けた処方箋の回数について、以下に全てお答えください。(回)(必須回答項目)

	回 答 数	1薬局あたり
回答者数(n)	868	100.0
処方箋の受付回数	308,708	355.7
一般名で処方された処方箋数	186,046	214.3
先発医薬品名で「変更不可」の処方箋数	27,737	32.0
後発医薬品名で「変更不可」の処方箋数	4,255	4.9

- Q5. 令和元年 6/9（日）～6/15（土）に行った調剤について、以下に全て品目数をお答えください。（品目）（必須回答項目）

	回 答 数	1薬局あたり
回答者数(n)	868	100.0
処方箋に記載された医薬品の品目数の合計	875,070	1008.1
一般名処方箋で調剤した後発医薬品の延べ品目数	422,647	486.9
先発医薬品の処方箋を後発医薬品に変更して調剤した延べ品目数	194,379	223.9

2. 患者への後発医薬品の説明について

Q6. 患者への後発医薬品の説明をいつ行うかお答えください。(複数選択可)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
初回の来局時	797	91.8
新たな後発医薬品が販売された時	691	79.6
患者から求められた時	653	75.2
処方の変更時	616	71.0
患者から薬代の自己負担が多いという申し出があった時	510	58.8
患者から先発医薬品の使用に関して不満の申し出があった時	344	39.6
毎回(調剤の都度)	91	10.5
その他	69	7.9

Q7. 後発医薬品の説明内容についてお答えください。(複数選択可)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
窓口負担の軽減	823	94.8
有効性、安全性など先発医薬品との同等性	817	94.1
形状や味、使用感などの工夫	535	61.6
国民皆保険制度維持への貢献(次世代負担軽減)	494	56.9
品目指定の処方と一般名による処方の違い	404	46.5
その他	27	3.1

Q8. 後発医薬品の主な説明手段についてお答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
口頭説明のみ	658	75.8
リーフレット等の啓発資材を使用して説明	176	20.3
その他	34	3.9

Q9. 後発医薬品を説明する主なタイミングについてお答えください。(1つ選択)
(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
処方箋受付時	712	82.0
投薬・服薬指導時	142	16.4
その他	14	1.6

Q10. 後発医薬品の説明を断られた経験はありますか。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
ある	615	70.9
ない	253	29.1

Q10-1. (Q10で「ある」を選んだ方)

患者が後発医薬品の説明を断った理由は何でしたか。(自由意見)(必須回答項目)

漠然とした不安感・嫌悪感、効果が不十分であった経験、医師の処方どおりの薬を希望するため、飲みなれた薬を希望するため、時間がないため、既に説明を聞いたことがあるため 等

Q11. 患者に後発医薬品の説明をする場合、患者一人当たりおよそどのくらいの時間を要していますか。(数値記入)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
平均(分)	2.9	
1分未満	3	0.3
1分程度	205	23.6
2分程度	208	24.0
3分程度	248	28.6
4～5分程度	176	20.3
6～7分程度	3	0.3
8～10分程度	18	2.1
11分以上	7	0.8

Q12. 後発医薬品の説明後、後発医薬品を希望しなかった患者はいますか。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
いる	852	98.2
いない	16	1.8

Q12-1. (Q12で「いる」を選んだ方)

患者が後発医薬品の使用を希望しなかった理由は、何でしたか。(複数選択可)

(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数 (n)	852	100.0
先発医薬品に対するこだわりがあるから	698	81.9
飲み(使い)慣れた先発医薬品がよいから	664	77.9
医師の処方どおりの薬がほしいから	630	73.9
後発医薬品に対する漠然とした不安があるから	620	72.8
窓口負担がなく、後発医薬品を選ぶメリットを感じないから	450	52.8
自己負担額があまり下がらないから	447	52.5
医師から積極的に勧められていないから	422	49.5
先発医薬品との違い(味、剤形、色、粘着力など)が気になるから	408	47.9
その他	85	10.0

- Q13. 若い世代（15歳未満）の患者、またはその保護者に後発医薬品への変更を勧める場合、
 どのような説明が効果的と感じていますか。上位2つまでお答えください。（複数選択可）
 （必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	868	100.0
有効性、安全性など先発医薬品との同等性	605	69.7
形状や味、使用感などの工夫	475	54.7
国民皆保険制度維持への貢献(次世代負担軽減)	275	31.7
窓口負担の軽減	187	21.5
品目指定の処方と一般名による処方の違い	76	8.8
その他	18	2.1

- Q14. 高齢（65歳以上）の患者に後発医薬品への変更を勧める場合、どのような説明が効果的
 と感じていますか。上位2つまでお答えください。（複数選択可）（必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	868	100.0
有効性、安全性など先発医薬品との同等性	628	72.4
窓口負担の軽減	605	69.7
国民皆保険制度維持への貢献(次世代負担軽減)	239	27.5
形状や味、使用感などの工夫	165	19.0
品目指定の処方と一般名による処方の違い	56	6.5
その他	12	1.4

- Q15. 後発医薬品を採用するときに重視することについて、お答えください。（複数選択可）
 （必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	868	100.0
先発医薬品と適応症が一致していること	648	74.7
メーカー・卸売業者が十分な在庫を確保し、安定的に供給されていること	627	72.2
迅速な納品の体制が整備されていること	538	62.0
先発医薬品よりも最新の製剤技術が活用されたり、味等が改善されていること	410	47.2
適当な包装単位(小包装)の製品が供給されること	410	47.2
性状(色、形等)や使用感(味、粘着力)が先発医薬品と似ていること	405	46.7
メーカー・卸売業者からの情報提供が適切であること	402	46.3
メーカーが品質について情報開示していること	392	45.2
問い合わせに迅速・適切に対応できる体制が確立されていること	283	32.6
他の後発医薬品よりも安価であること	175	20.2
その他	74	8.5

3. 後発医薬品に関する意識・経験等について

Q16. 今現在、後発医薬品に関して、不安感がありますか。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構成比(%)
回答者数(n)	868	100.0
ある	238	27.4
どちらともいえない	400	46.1
ない	230	26.5

Q16-1. (Q16で「ある」、「どちらともいえない」を選んだ方)

後発医薬品に関して不安感を抱いている理由、原因、内容等について、お答えください。

(複数選択可)(必須回答項目)

	回 答 数	構成比(%)
回答者数(n)	638	100.0
添加物の違いに不安感がある	330	51.7
先発医薬品との効果の違い	263	41.2
品質、有効性、供給に関する情報量が不足している	244	38.2
供給不足による院内採用薬の変更	219	34.3
原薬に不安感がある	188	29.5
製造過程に不安感がある	153	24.0
先発医薬品に比べ、薬局に在庫がないことが多い	145	22.7
情報提供を求めたがメーカーの対応が不十分(MRの活動等含む)	127	19.9
医療関係者からの評判	127	19.9
先発医薬品との副作用の違い	120	18.8
その他	95	14.9

Q16-2. (Q16で「ある」、「どちらともいえない」を選んだ方)

不安感を抱いたきっかけや理由、内容について、具体的な事例があれば、お答えください。(自由意見)(任意回答項目)

供給が不安定、使用感の違いや効果が不十分 等

Q16-3. (Q16で「ない」を選んだ方)

後発医薬品に対する理解が深まったきっかけや理由、内容について、具体的な事例があればお答えください。(自由意見)(任意回答項目)

使用経験、メーカーからの情報提供 等

- Q17. 患者から後発医薬品の効果が先発医薬品と異なると相談を受けた経験はありますか。
(1つ選択) (必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比 (%)
回答者数(n)	868	100.0
ある	712	82.0
ない	156	18.0

- Q17-1. (Q17で「ある」を選んだ方)

患者から効果が異なると相談された際にどのような対応をしましたか。(自由意見) (任意回答項目)

有効成分は同じであることを説明、有効成分は同じだが添加物は異なることを説明、患者の希望に応じ先発品に変更 等

4. 後発医薬品に関する情報・選定等について

Q18. 後発医薬品に関する情報はどこから入手していますか。(複数選択可)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数 (n)	868	100.0
医薬品医療機器情報配信サービス(PMDAメディナビ)	503	57.9
厚生労働省の「ジェネリック医薬品品質情報検討会」ホームページ	140	16.1
厚生労働省の「安定供給体制等を指標とした情報提供ページ」	68	7.8
東京都薬剤師会の「後発医薬品比較サイト」	146	16.8
日本ジェネリック製薬協会の「情報提供システム」	89	10.3
製薬企業のホームページ	392	45.2
製薬企業のMR	543	62.6
卸売業者のホームページ	61	7.0
卸売業者のMS	477	55.0
地区薬剤師会	103	11.9
近隣の医療機関	43	5.0
その他	45	5.2

Q19. 後発医薬品に関して、不足していると感じる情報はありますか。(1つ選択)
(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
ある	408	47.0
ない	460	53.0

Q19-1. Q19で「ある」を選んだ方にお聞きします。後発医薬品に関して、不足していると感じる情報について、主なものを3つまで選択してください。(複数選択可)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	408	100.0
適応症	148	36.3
添加物	129	31.6
薬物動態	117	28.7
臨床試験	110	27.0
他の医薬品との混注、混合	98	24.0
製剤(溶解性、大きさ等)	83	20.3
副作用	80	19.6
色、味等	79	19.4
包装、外観	38	9.3
小児・高齢者・妊婦等への投与	35	8.6
緊急時の措置(重篤副作用への措置情報等)	32	7.8
薬効薬理	26	6.4
相互作用	20	4.9
禁忌・警告	7	1.7
その他	55	13.5

- Q20. 今後、薬局として後発医薬品の使用を進めていく場合、重要と考える条件について 主なものを3つまでお答えください。(複数選択可)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
安定的な供給	703	81.0
適当な包装単位	314	36.2
一般名処方の推進	295	34.0
品質、有効性、安全性に関する情報の公開	252	29.0
速やかな納品	226	26.0
メーカー等からの情報提供の充実(MR 訪問含む)	193	22.2
後発医薬品を理解しやすい、患者向け啓発資材の充実	193	22.2
不動在庫の解消に向けた取組	123	14.2
フォーミュラリーの推進	54	6.2
薬剤師の教育訓練(患者対応力の向上)	30	3.5
その他	90	10.4

- Q21. 貴薬局の所属する地域における後発医薬品フォーミュラリーの状況について、お答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回 答 数	構 成 比(%)
回答者数(n)	868	100.0
後発医薬品フォーミュラリーが存在する	21	2.4
後発医薬品フォーミュラリーは存在しない	233	26.8
後発医薬品フォーミュラリーを作成中である	17	2.0
どのような状況であるかわからない	589	67.9
その他	8	0.9

- Q22. 後発医薬品フォーミュラリーについてのお考えをお聞かせください。(自由意見)(任意回答項目)

フォーミュラリーという言葉は初めて聞いた、在庫管理がしやすくなるためであると良い、課題が多く実現が困難 等 等

5. 後発医薬品に関するご意見等について

- Q23. 後発医薬品に対するご意見等がありましたら、お聞かせください。(自由意見)(任意回答項目)

情報提供、安定供給、メーカーの種類が多い、医師への働きかけ 等

後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート結果（速報） [病院・病院医師・診療所]

（１）施設の概要等

①病院・診療所の概要等

所在地についてお答えください。（１つ選択）（必須回答項目）（病院SC1、診療所SC1）

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数（n）	189	100.0	409	100.0
区中央部	12	6.3	68	16.6
区南部	11	5.8	21	5.1
区西南部	13	6.9	54	13.2
区西部	17	9.0	45	11.0
区西北部	25	13.2	42	10.3
区東北部	24	12.7	31	7.6
区東部	17	9.0	41	10.0
西多摩	9	4.8	5	1.2
南多摩	20	10.6	31	7.6
北多摩西部	8	4.2	15	3.7
北多摩南部	18	9.5	41	10.0
北多摩北部	15	7.9	13	3.2
島しょ	0	0.0	2	0.5

開設者についてお答えください。（１つ選択）（必須回答項目）（病院SC2、診療所SC2）

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数（n）	189	100.0	409	100.0
国立	7	3.7	—	—
公立	11	5.8	—	—
公的	4	2.1	—	—
社会保険関係団体	3	1.6	—	—
医療法人	114	60.3	—	—
その他法人	47	24.9	—	—
個人	3	1.6	209	51.1
法人	—	—	192	46.9
その他	—	—	8	2.0

病床数・医師数・歯科医師数・薬剤師数についてそれぞれお答えください。（令和元年6月末日時点）
 （それぞれ数値記入）（必須回答項目）（病院SC3、診療所SC3）

1. 稼働病床数

	病院	
	回答数	一病院あたり
回答者数（n）	189	—
稼働病床数（床）	46,752	247.4

2. 医師数、3. 歯科医師数、4. 薬剤師数

	病院		診療所	
	回答数	一病院あたり	回答数	一病院あたり
回答者数（n）	189	—	409	—
医師数（名）※常勤換算	12,519	66.2	542	1.3
歯科医師数（名）※常勤換算	770	4.1	80	0.2
薬剤師数（名）※常勤換算	2,367	12.5	43	0.1

標榜している診療科目を選択してください。（回答日時点）（複数選択可）（必須回答項目）
 (病院SC4、診療所SC4)

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数 (n)	189	100.0	409	100.0
内科	167	88.4	224	54.8
外科	121	64.0	41	10.0
精神科	73	38.6	43	10.5
小児科	58	30.7	57	13.9
皮膚科	91	48.1	44	10.8
泌尿器科	89	47.1	19	4.6
産婦人科・産科	53	28.0	22	5.4
眼科	71	37.6	30	7.3
耳鼻咽喉科	62	32.8	31	7.6
放射線科	74	39.2	6	1.5
脳神経外科	75	39.7	10	2.4
整形外科	119	63.0	39	9.5
麻酔科	81	42.9	8	2.0
救急科	41	21.7	0	0.0
歯科・歯科口腔外科	52	27.5	53	13.0
リハビリテーション科	115	60.8	29	7.1
その他	51	27.0	41	10.0

(2) 医師の属性

診療科目を選択してください。(複数選択可) (必須回答項目) (病院医師SC1)

	病院医師	
	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	261	100.0
内科	144	55.2
外科	32	12.3
精神科	35	13.4
小児科	7	2.7
皮膚科	5	1.9
泌尿器科	7	2.7
産婦人科・産科	5	1.9
眼科	2	0.8
耳鼻咽喉科	1	0.4
放射線科	0	0.0
脳神経外科	8	3.1
整形外科	14	5.4
麻酔科	3	1.1
救急科	2	0.8
歯科・歯科口腔外科	2	0.8
リハビリテーション科	16	6.1
その他	9	3.4

ご年齢をお答えください。(回答日時点) (数値記入) (必須回答項目) (病院医師SC2、診療所SC5)

	病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	261	100.0	409	100.0
平均(歳)	52.2	—	56.3	—
30才未満	2	0.8	1	0.2
30才以上40才未満	24	9.2	25	6.1
40才以上40才未満	73	28.0	80	19.6
50才以上60才未満	99	37.9	137	33.5
60才以上70才未満	51	19.5	119	29.1
70才以上	12	4.6	47	11.5

(3) 病院・診療所におけるオーダリングシステムの導入状況・後発医薬品使用割合等

①病院におけるDPCの導入状況

DPCの導入状況についてお答えください。(1つ選択)(必須回答項目)(病院Q1)

	病院	
	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	189	100.0
導入している	74	39.2
導入していない	115	60.8

②オーダリングシステムの導入状況

オーダリングシステムを導入していますか。(令和元年6月末日時点)(1つ選択)(病院Q2、診療所Q1)

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	189	100.0	409	100.0
導入している	125	66.1	114	27.9
導入していない	64	33.9	295	72.1

(オーダリングシステムを「導入している」を選んだ方)

オーダリングシステムの導入状況について、あてはまるものをすべて選択してください。

(令和元年6月末日現在)(複数選択可)(病院Q2-1、診療所Q1-1)

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	125	100.0	114	100.0
一般名処方に対応できるオーダリングシステムを導入している (先発医薬品を処方した際に一般名も同時に表示される等)	84	67.2	90	78.9
後発医薬品名が表示されるオーダリングシステムを導入している	43	34.4	37	32.5
上記の機能はないオーダリングシステムを導入している	28	22.4	11	9.6

③後発医薬品使用割合

貴院の後発医薬品の割合は数量ベースでどのくらいかお答えください。（令和元年6月分）
 （数値記入）（必須回答項目）（病院Q3、診療所Q2）

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	189	100.0	409	100.0
平均(%)	66.3	—	50.8	—
10%未満	20	10.6	72	17.6
10%以上20%未満	9	4.8	23	5.6
20%以上30%未満	3	1.6	17	4.2
30%以上40%未満	5	2.6	33	8.1
40%以上50%未満	13	6.9	15	3.7
50%以上60%未満	7	3.7	45	11.0
60%以上70%未満	14	7.4	26	6.4
70%以上80%未満	14	7.4	55	13.4
80%以上90%未満	49	25.9	64	15.6
90%以上	55	29.1	59	14.4

④後発医薬品使用体制加算

後発医薬品使用体制加算の状況について、お答えください。（令和元年6月分）（1つ選択）
 （必須回答項目）（病院Q4）

	病院	
	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	189	100.0
後発医薬品使用体制加算1(45点)	78	41.3
後発医薬品使用体制加算2(40点)	14	7.4
後発医薬品使用体制加算3(35点)	6	3.2
後発医薬品使用体制加算4(22点)	5	2.6
算定していない	86	45.5

(4) 後発医薬品の採用状況 ・ 入院患者、外来の院内処方について**①後発医薬品の採用状況**

後発医薬品の採用状況をお答えください。(1つ選択) (必須回答項目) (病院Q8、診療所Q6)

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	189	100.0	409	100.0
後発医薬品があるものは積極的に採用	91	48.1	130	31.8
薬の種類によって、後発医薬品を積極的に採用	75	39.7	164	40.1
その他	7	3.7	35	8.6
後発医薬品を積極的には採用していない	16	8.5	80	19.6

(後発医薬品の採用状況について、「後発医薬品があるものは積極的に採用」、「薬の種類によって、後発医薬品を積極的に採用」、「その他」を選んだ方)

後発医薬品を採用する際に重視することは何ですか。(複数選択可) (必須回答項目)
(病院Q8-1、診療所Q6-1)

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	173	100.0	329	100.0
先発医薬品と適応症が一致していること	137	79.2	246	74.8
メーカーが品質について情報開示していること	112	64.7	159	48.3
メーカー・卸売業者からの情報提供が適切であること	109	63.0	135	41.0
性状(色、形等)や使用感(味、粘着力)が先発医薬品と似ていること	61	35.3	69	21.0
先発医薬品よりも最新の製剤技術が活用されたり、味等が改善されていること	47	27.2	56	17.0
適当な包装単位(小包装)の製品が供給されていること	72	41.6	49	14.9
他の後発医薬品よりも安価であること	73	42.2	93	28.3
迅速な納品の体制が整備されていること	112	64.7	81	24.6
問い合わせに迅速・適切に対応できる体制が確立されていること	81	46.8	84	25.5
メーカー・卸売業者が十分な在庫を確保し、安定的に供給されていること	131	75.7	120	36.5
その他	15	8.7	30	9.1

②病院における後発医薬品の採用手順

(後発医薬品の採用状況について、「後発医薬品があるものは積極的に採用」、「薬の種類によって、後発医薬品を積極的に採用」、「その他」を選んだ方)

後発医薬品を選定・採用する際の手順はありますか。(1つ選択)(必須回答項目)(病院Q8-2)

	病院	
	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	173	100.0
ある	112	64.7
作成中	12	6.9
ない	49	28.3

(後発医薬品の採用手順等について、「ある」、「作成中」を選んだ方)

採用薬を決めるまでの貴院の取組(後発医薬品の情報収集方法、手順、決定手続き等)についてお答えください。(自由意見)(必須回答項目)(病院Q8-2-1)

【手順・決定手続】院内薬事委員会で、薬剤科が事前に準備した情報(評価表など)を提示し、それをもとに委員会で採用を決定する。等

③入院患者、外来の院内処方

入院患者、外来の院内処方について後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。

(1つ選択)(必須回答項目)(病院医師Q2)

	病院医師	
	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	261	100.0
後発医薬品を積極的に処方する	147	56.3
薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する	78	29.9
患者によって、後発医薬品を積極的に処方する	17	6.5
後発医薬品を積極的に処方しない	19	7.3

(後発医薬品の院内処方について、「後発医薬品を積極的に処方する」、「薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する」、「患者によって、後発医薬品を積極的に処方する」を選んだ方)

後発医薬品を積極的に処方する理由は何ですか。(複数選択可)(必須回答項目)(病院医師Q2-1)

	病院医師	
	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	242	100.0
患者が後発医薬品の使用を希望するから	52	21.5
患者の経済的負担を軽減できるから	134	55.4
飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから	13	5.4
診療報酬上の評価があるから	91	37.6
医療費削減につながるから	167	69.0
国が後発医薬品の使用促進を図っているから	96	39.7
施設の方針だから	114	47.1
その他	9	3.7

(後発医薬品の院内処方について、「後発医薬品を積極的には処方しない」を選んだ方)
 後発医薬品を積極的に処方しない理由は何ですか。(複数選択可) (必須回答項目) (病院医師Q2-2)

	病院医師	
	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	19	100.0
後発医薬品の品質や医学的な理由(効果や副作用)に疑問があるから	9	47.4
適応症が異なるから	2	10.5
後発医薬品の安定供給に不安があるから	3	15.8
後発医薬品に関する情報提供が不足しているから	2	10.5
患者への普及啓発が不足しているから	0	0.0
後発医薬品の説明に時間がかかるから	0	0.0
経営上の観点から	3	15.8
患者が先発医薬品を希望するから	2	10.5
患者の容態等から先発医薬品がよいと判断したから	2	10.5
先発医薬品では、調剤しやすいよう製剤上の工夫がされているから	0	0.0
施設の方針だから	6	31.6
その他	3	15.8

(5) 外来の院外処方について**①外来の状況**

外来の処方箋の発行状況について、お答えください。院内処方、院外処方のそれぞれについてお答えください。（令和元年6月1か月間）（それぞれ数値記入）（必須回答項目）
（病院Q5、診療所Q3）

	病院	診療所
回答者数(n)	189	409
院内処方(%)	32.6	31.1
院外処方(%)	67.4	68.9

※院外処方 0%：（病院）14件、（診療所）78件

処方箋料の算定回数について、お答えください。（令和元年6月1か月間）（必須回答項目）
（病院Q6、診療所Q4）

	病院	診療所
回答者数(n)	189	409
処方箋料算定回数(平均)	2,856	322

一般名処方加算の算定回数についてお答えください。（令和元年6月1か月間）（複数選択可）
（必須回答項目）（病院Q7、診療所Q5）

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	189	—	409	—
一般名処方加算1(6点)あり	104	55.0	203	49.6
平均回数	545.4	—	107.6	—
一般名処方加算2(4点)あり	108	57.1	209	51.1
平均回数	603.9	—	115.0	—
算定していない	74	39.2	169	41.3

②外来診療における後発医薬品の処方

外来で院外処方箋を発行していますか。（1つ選択）（必須回答項目）（病院医師Q1）

	病院医師	
	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	261	100.0
発行している	235	90.0
発行していない	26	10.0

(外来の院外処方箋について、「発行している」を選んだ方(病院医師)、
院外処方箋の発行が0%以外を入力した方(診療所))
後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。(1つ選択)(必須回答項目)
(病院医師Q1-1、診療所Q7)

	病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	235	100.0	331	100.0
後発医薬品を積極的に処方する	167	71.1	135	40.8
薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する	38	16.2	111	33.5
患者によって、後発医薬品を積極的に処方する	20	8.5	47	14.2
後発医薬品を積極的に処方しない	10	4.3	38	11.5

(後発医薬品の処方について、「後発医薬品を積極的に処方する」、「薬の種類によって、
後発医薬品を積極的に処方する」、「患者によって、後発医薬品を積極的に処方する」を選んだ方)
後発医薬品を積極的に処方する理由は何ですか。(複数選択可)(必須回答項目)
(病院医師Q1-1-1、診療所Q7-1)

	病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	225	100.0	293	100.0
患者が後発医薬品の使用を希望するから	88	39.1	171	58.4
患者の経済的負担を軽減できるから	179	79.6	222	75.8
飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから	7	3.1	29	9.9
診療報酬上の評価があるから	79	35.1	60	20.5
医療費削減につながるから	159	70.7	160	54.6
国が後発医薬品の使用促進を図っているから	110	48.9	103	35.2
施設の方針だから	56	24.9	—	—
近隣の薬局が信頼できるから	10	4.4	46	15.7
その他	3	1.3	8	2.7

(後発医薬品の処方について、「後発医薬品を積極的には処方しない」を選んだ方)
 後発医薬品を積極的には処方しない理由は何ですか。(複数選択可) (必須回答項目)
 (病院医師Q1-1-2、診療所Q7-2)

	病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	10	100.0	38	100.0
後発医薬品の品質や医学的な理由(効果や副作用)に疑問があるから	9	90.0	27	71.1
適応症が異なるから	2	20.0	10	26.3
後発医薬品の安定供給に不安があるから	4	40.0	4	10.5
後発医薬品に関する情報提供が不足しているから	3	30.0	8	21.1
患者への普及啓発が不足しているから	0	0.0	1	2.6
後発医薬品の説明に時間がかかるから	0	0.0	3	7.9
一般名の記入がしづらいから	1	10.0	4	10.5
後発医薬品を処方するメリットがないから	1	10.0	7	18.4
患者が先発医薬品を希望するから	4	40.0	8	21.1
患者の容態等から先発医薬品がよいと判断したから	1	10.0	9	23.7
先発医薬品では、調剤しやすいよう製剤上の工夫がされているから	0	0.0	1	2.6
施設の方針だから	0	0.0	—	—
その他	3	30.0	11	28.9

③一般名処方による処方箋発行の状況、後発医薬品への「変更不可」欄にチェックする頻度等

外来で院外処方箋を発行されている方にお聞きます。一般名で処方していますか。（1つ選択）
（必須回答項目）（病院医師Q1-2、診療所Q8）

	病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	235	100.0	331	100.0
している	157	66.8	262	79.2
していない	78	33.2	69	20.8

（外来の院外処方箋発行時の一般名処方について、「していない」を選択した方）
一般名処方をしていない理由を具体的にお答えください。（自由意見）（任意回答項目）
（病院Q1-2-1、診療所Q8-1）

電子カルテの仕様、一般名を覚えていない 等

（外来の院外処方箋について、「発行している」を選んだ方（病院医師）、
院外処方箋の発行が0%以外を入力した方（診療所））
先発医薬品で処方し、「変更不可」にチェックする頻度はどのくらいですか。（1つ選択）
（必須回答項目）（病院Q1-3、診療所Q9）

	病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	235	100.0	331	100.0
1割未満	205	87.2	257	77.6
1割以上3割未満	23	9.8	48	14.5
3割以上5割未満	3	1.3	9	2.7
5割以上	4	1.7	17	5.1

（外来の院外処方箋について、「発行している」を選んだ方（病院医師）、
院外処方箋の発行が0%以外を入力した方（診療所））
先発医薬品を指定する場合、その理由は何ですか。（複数選択可）（必須回答項目）
（病院医師Q1-4、診療所Q10）

	病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	235	100.0	331	100.0
後発医薬品の品質や医学的な理由(効果や副作用)に疑問があるから	70	29.8	131	39.6
適応症が異なるから	40	17.0	58	17.5
後発医薬品の安定供給に不安があるから	9	3.8	16	4.8
後発医薬品に関する情報提供が不足しているから	21	8.9	38	11.5
患者からの希望があるから	151	64.3	209	63.1
その他	15	6.4	30	9.1
先発医薬品を指定することはない	34	14.5	43	13.0

(6) 調剤時の薬局からの情報提供等

①調剤時の薬局からの情報提供等

(外来の院外処方箋について、院外処方箋の発行が0%以外を入力した方)
 「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」の薬局からの情報提供について、
 薬局と予め合意した方法で行っていますか、お答えください。(1つ選択) (必須回答項目)
 (病院Q9、診療所Q11)

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	175	100.0	331	100.0
主に合意した方法で行っている	45	25.7	95	28.7
薬局によって様々である	48	27.4	116	35.0
その他	9	5.1	6	1.8
合意した方法はない	73	41.7	114	34.4

(薬局からの情報提供について、「主に合意した方法で行っている」、「薬局によって様々である」、
 「その他」を選んだ方)
 その方法はどのようなものですか。(複数選択可) (必須回答項目) (病院Q9-1、診療所Q11-1)

	病院		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	102	100.0	217	100.0
調剤をした都度提供すること	41	40.2	70	32.3
原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しないとする	38	37.3	115	53.0
一定期間に行った調剤をまとめて提供すること	17	16.7	32	14.7
お薬手帳等により患者経由で次の診療日に提供すること	32	31.4	47	21.7
副作用等問題が発生した時だけ提供すること	6	5.9	23	10.6
その他	7	6.9	9	4.1

(薬局からの情報提供について、「主に合意した方法で行っている」、「薬局によって様々である」、「その他」を選んだ方(病院)、外来の院外処方箋について「発行している」を選んだ方(病院医師)、院外処方箋の発行が0%以外を入力した方(診療所))
 「一般名処方箋の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」について、どのようなタイミング・方法で処方医(歯科医を含む)に情報提供されることが望ましいと思いますか。(1つ選択)(必須回答項目)
 (病院Q10、病院医師Q1-5、診療所Q12)

	病院		病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	102	100.0	235	100.0	331	100.0
薬局から、調剤をした都度	27	26.5	42	17.9	91	27.5
薬局から、一定期間に行った調剤をまとめて	10	9.8	23	9.8	46	13.9
薬局から、特定の場合にのみ (前回と調剤内容が異なる場合、副作用の問題が発生した場合等)	32	31.4	73	31.1	120	36.3
患者から、お薬手帳等により次の診療日に	24	23.5	25	10.6	29	8.8
その他	4	3.9	2	0.9	3	0.9
特に必要ない	5	4.9	70	29.8	42	12.7

②医療機関における情報提供の取扱い方法等

(薬局からの情報提供について、「主に合意した方法で行っている」、「薬局によって様々である」、「その他」を選んだ方)

薬局から提供された情報について、貴院での主な取扱い方法をお答えください。(1つ選択)
(必須回答項目) (病院Q11)

	病院	
	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	102	100.0
処方医に情報提供している	60	58.8
薬剤部で共有している	6	5.9
薬剤部で保管している	18	17.6
その他	18	17.6

(薬局から提供された情報の取扱いについて、「処方医に情報提供している」を選んだ方)
具体的にどのようにして、処方医に情報提供しているかお答えください。(自由意見)

(必須回答項目) (病院Q11-1)

電子カルテへ記載 等

(外来の院外処方箋について「発行している」を選んだ方(病院医師)、
院外処方箋の発行が0%以外を入力した方(診療所))

薬局から提供された後発医薬品に関する情報について主な取扱い方法をお答えください。(1つ選択)
(必須回答項目) (病院医師Q1-6、診療所Q13)

	病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	235	100.0	331	100.0
カルテに反映している	84	35.7	183	55.3
カルテには反映していないが、院内に保管している	58	24.7	114	34.4
その他	9	3.8	34	10.3
情報提供されていない	84	35.7	-	-

(7) 後発医薬品に関する意識・経験**① 今現在の後発医薬品に対する不安感**

今現在、後発医薬品に関して、不安感がありますか。（1つ選択）（必須回答項目）
 (病院Q12、病院医師Q3、診療所Q14)

	病院		病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	189	100.0	261	100.0	409	100.0
ある	74	39.2	81	31.0	125	30.6
どちらともいえない	88	46.6	98	37.5	200	48.9
ない	27	14.3	82	31.4	84	20.5

(後発医薬品に関する不安感について、「ある」、「どちらともいえない」を選んだ方)
 不安感を抱いたきっかけや理由、内容等について、お答えください（複数選択可）（必須回答項目）
 (病院Q12-1、病院医師Q3-1、診療所Q14-1)

	病院		病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	162	100.0	179	100.0	325	100.0
原薬に不安感がある	72	44.4	45	25.1	78	24.0
添加物の違いに不安感がある	61	37.7	117	65.4	222	68.3
製造過程に不安感がある	30	18.5	60	33.5	111	34.2
品質・有効性に関する情報量が不足している	52	32.1	78	43.6	146	44.9
供給に関する情報量が不足している	84	51.9	43	24.0	55	16.9
先発医薬品との効果の違い	64	39.5	105	58.7	196	60.3
先発医薬品との副作用の違い	44	27.2	82	45.8	144	44.3
供給不足による院内採用薬の変更	88	54.3	30	16.8	17	5.2
情報提供を求めたがメーカーの対応が不十分(MRの活動等含む)	47	29.0	26	14.5	62	19.1
先発医薬品に比べ、薬局に在庫がないことが多い	14	8.6	9	5.0	33	10.2
医療関係者からの評判	18	11.1	23	12.8	61	18.8
その他	17	10.5	12	6.7	20	6.2

(後発医薬品に関する不安感について、「ある」、「どちらともいえない」を選んだ方)
 不安感を抱いたきっかけや理由、内容について、具体的な事例があれば、お答えください。
 (自由意見) (任意回答項目) (病院Q12-2、病院医師Q3-2、診療所Q14-2)

供給不足、効果減弱・副作用の経験 等

(後発医薬品に関する不安感について、「ない」を選んだ方)
 後発医薬品に対する理解が深まったきっかけや理由、内容について、具体的な事例があれば、
 お答えください。(自由意見) (任意回答項目) (病院Q12-3、病院医師Q3-3、診療所Q14-3)

後発医薬品企業等からの情報提供、使用経験 等

②後発医薬品に関する経験等

医学的見地から、後発医薬品が適さない、使用したくないと考える領域等（疾患など）があれば、お答えください。（自由意見）（任意回答項目）（病院医師Q4、診療所Q15）

抗がん剤、循環器疾患 等

後発医薬品には、剤形のサイズや味などに工夫がされ、患者が服用しやすいものがあります。後発医薬品に切り替えて、患者の服薬状況がよくなったり、効果がよくなった等の事例があればお答えください。（自由意見）（任意回答項目）（病院Q13、病院医師Q5、診療所Q16）

0D錠や小型化により飲みやすくなった、錠剤の表面に薬剤名が印字されており視認性が向上した 等

後発医薬品に切り替えて、効果の減弱、血圧、血糖、その他のコントロール不良、副作用等のご経験があれば、お答えください。（自由意見）（任意回答項目）（病院Q14、病院医師Q6、診療所Q17）

降圧の程度の悪化、貼付剤のはがれやすさ 等

③患者から先発医薬品・後発医薬品の希望を受ける経験等

患者から、先発医薬品、後発医薬品の希望を受けることがありますか。（1つ選択）（必須回答項目）（病院医師Q7、診療所Q18）

	病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	261	100.0	409	100.0
ある	223	85.4	300	73.3
ない	38	14.6	109	26.7

（患者から先発医薬品、後発医薬品の希望を受けた経験について、「ある」を選んだ方）
先発医薬品、後発医薬品を希望する患者のうち、先発医薬品、後発医薬品を希望する患者はどの程度いらっしゃいますか。（それぞれ数値記入）（必須回答項目）（病院医師Q7-1、診療所Q18-1）

	病院医師	診療所
回答者数(n)	223	300
先発医薬品を希望する患者の割合(平均)	31.0	36.3
後発医薬品を希望する患者の割合(平均)	69.0	63.7

(8) 後発医薬品に関する情報の入手先等**①後発医薬品に関する情報の入手先等**

後発医薬品に関する情報はどこから入手していますか。(複数選択可) (必須回答項目)
(病院Q15、病院医師Q8、診療所Q19)

	病院		病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	189	100.0	261	100.0	409	100.0
医薬品医療機器情報配信サービス(PMDAメディナビ)	128	67.7	31	11.9	111	27.1
厚生労働省の「ジェネリック医薬品品質情報検討会」ホームページ	58	30.7	21	8.0	56	13.7
厚生労働省の「安定供給体制等を指標とした情報提供ページ」	27	14.3	6	2.3	29	7.1
東京都薬剤師会の「後発医薬品比較サイト」	29	15.3	4	1.5	23	5.6
日本ジェネリック製薬協会の「情報提供システム」	37	19.6	4	1.5	22	5.4
製薬企業のホームページ	98	51.9	37	14.2	60	14.7
製薬企業のMR	114	60.3	65	24.9	163	39.9
卸売業者のホームページ	23	12.2	2	0.8	18	4.4
卸売業者のMS	64	33.9	7	2.7	84	20.5
東京都医師会・地区医師会、東京都歯科医師会・地区歯科医師会	7	3.7	11	4.2	50	12.2
近隣の薬局	6	3.2	—	—	100	24.4
院内の薬剤師	—	—	134	51.3	—	—
その他	11	5.8	8	3.1	12	2.9
特になし	7	3.7	72	27.6	72	17.6

後発医薬品に関して、不足していると感じる情報はありますか。(1つ選択)
(必須回答項目) (病院Q16、病院医師Q9、診療所Q20)

	病院		病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	189	100.0	261	100.0	409	100.0
ある	110	58.2	136	52.1	191	46.7
ない	79	41.8	125	47.9	218	53.3

(後発医薬品に不足している情報について、「ある」を選んだ方)
 後発医薬品に関して不足していると感じる情報について、主なものを3つまで選択してください。
 (複数選択可) (必須回答項目) (病院Q16-1、病院医師Q9-1、診療所Q20-1)

	病院		病院医師		診療所	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	110	100.0	136	100.0	191	100.0
適応症	29	26.4	30	22.1	45	23.6
臨床試験	30	27.3	33	24.3	65	34.0
薬物動態	31	28.2	41	30.1	44	23.0
添加物	20	18.2	68	50.0	102	53.4
副作用	34	30.9	61	44.9	92	48.2
製剤(溶解性、大きさ等)	16	14.5	25	18.4	26	13.6
他の医薬品との混注、混合	52	47.3	9	6.6	14	7.3
薬効薬理	5	4.5	23	16.9	28	14.7
緊急時の措置(重篤副作用への措置情報等)	14	12.7	13	9.6	19	9.9
相互作用	8	7.3	11	8.1	14	7.3
色、味等	3	2.7	8	5.9	6	3.1
包装、外観	3	2.7	8	5.9	6	3.1
小児・高齢者・妊婦等への投与	4	3.6	10	7.4	13	6.8
禁忌・警告	3	2.7	7	5.1	16	8.4
その他	19	17.3	9	6.6	11	5.8

(9) 後発医薬品に関するご意見等

後発医薬品に関するご意見等がありましたら、お聞かせください。(自由意見) (任意回答項目)
 (病院Q17、病院医師Q10、診療所Q21)

安定供給に関する不安、情報提供の不足、種類が多い 等

後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート結果（速報）【保険者】

0. 保険者について

SC1. 貴保険者の種別を教えてください。（1つ選択）（必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	252	100.0
区市町村国保	62	24.6
国保組合	21	8.3
後期高齢者医療広域連合	1	0.4
健康保険組合	150	59.5
共済組合	17	6.7
全国健康保険協会東京支部	1	0.4

SC2. 被保険者数及び被扶養者数をお答えください。（令和元年6月末日時点）（1つ選択）
（必須回答項目）

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	252	100.0
1万人未満	103	40.9
1万人以上5万人未満	96	38.1
5万人以上10万人未満	25	9.9
10万人以上	28	11.1

1. 後発医薬品の使用促進の取組について

Q1. 貴保険者の後発医薬品の割合は数量ベース（調剤分）でどのぐらいかお答えください。

(令和元年6月) (必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	252	100.0
計数(%)平均 ※0%・不明を除く。	71.8	—
計数(%)平均 ※全体	68.3	—
0%・不明	12	4.8
1%以上20%未満	2	0.8
20%以上30%未満	2	0.8
30%以上40%未満	2	0.8
40%以上50%未満	10	4.0
50%以上60%未満	4	1.6
60%以上70%未満	39	15.5
70%以上80%未満	154	61.1
80%以上90%未満	27	10.7
90%以上	—	—

Q2. 後発医薬品の使用促進に向けた取組の実施の有無について、お答えください。

(1つ選択) (必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	252	100.0
実施している	245	97.2
実施していない	7	2.8

Q2-1. (Q2で「実施している」を選択した方)

実施内容について、お答えください。(複数回答) (必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	245	100.0
差額通知の実施	219	89.4
機関紙やWebサイトでの啓発	171	69.8
希望カードや希望シールの配布	188	76.7
啓発パンフレットやリーフレットの配布	82	33.5
その他	14	5.7

Q3. (Q2-1で「差額通知の実施」を選択した方)

差額通知の対象者の選定基準について、お答えください。(複数選択可)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	219	100.0
自己負担額の軽減額が一定以上	144	65.8
全ての調剤レセプト	57	26.0
一定年齢以上	50	22.8
生活習慣病治療薬(先発医薬品)を長期服用している	23	10.5
その他	61	27.9

(「自己負担額の軽減額が一定以上」を選択した場合の金額)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	144	100.0
(参考)中央値(円以上)	300	
(参考)平均値(円以上)	702	
100円未満	2	1.4
100円以上	64	44.4
300円以上	29	20.1
500円以上	19	13.2
1000円以上	24	16.7
3000円以上	2	1.4
5000円以上	4	2.8

(「一定年齢以上」を選択した場合の年齢)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	50	100.0
(参考)中央値(歳以上)	20	
(参考)平均値(歳以上)	21	
10歳未満	5	10.0
10歳以上	17	34.0
20歳以上	16	32.0
30歳以上	9	18.0
40歳以上	3	6.0

Q3-1. (Q2-1で「差額通知の実施」を選択した方)

差額通知の通知時期について、お答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	219	100.0
特定の月	151	68.9
毎月	29	13.2
医療費通知時期と併せた時期	23	10.5
その他	16	7.3

Q3-2. (Q2-1で「差額通知の実施」を選択した方)

年間の差額通知の通知回数について、お答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	219	100.0
1回	60	27.4
2回	61	27.9
3~6回	57	26.0
7~11回	10	4.6
12回	31	14.2
13回以上	-	-

Q3-3. (Q2-1で「差額通知の実施」を選択した方)

差額通知の実施方法について、お答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	219	100.0
外部委託	131	59.8
健保連・国保連のシステムにより実施	45	20.5
独自システムにより実施	28	12.8
その他	15	6.8

Q3-4. (Q2-1で「差額通知の実施」を選択した方)

通知対象者の選定方法、通知の時期や回数等について工夫している取組があれば、それぞれお答えください。(自由意見)(任意回答項目)

【通知対象者の選定方法】

対象年齢や自己負担軽減額下限額の設定、特定疾患(がん、精神疾患患者)の除外 等

【通知の時期や回数】

年に数回、花粉症対策として花粉症の時期に送付 等

【その他】

わかりやすいリーフレットの同封 等

Q3-5. (Q2-1で「差額通知の実施」を選択した方)

差額通知の切替効果の検証(差額通知後、先発医薬品から後発医薬品に切り替えたことによる効果額等の検証)の実施の有無について、お答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	219	100.0
実施している	134	61.2
実施していない	85	38.8

Q3-5-1. (Q3-5で「実施している」を選択した方)

直近で行った差額通知とその切替効果額について、集計されたものがあればそれぞれお答えください。(自由意見)(任意回答項目)

(直近で行った差額通知の切替率)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	85	100.0
(参考)中央値(%)	29	
(参考)平均値(%)	32	
10%未満	10	11.8
10%以上20%未満	18	21.2
20%以上30%未満	16	18.8
30%以上40%未満	12	14.1
40%以上50%未満	9	10.6
50%以上60%未満	8	9.4
60%以上70%未満	7	8.2
70%以上80%未満	4	4.7
80%以上90%未満	1	1.2

(直近で行った差額通知の1か月あたりの切替効果額)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	83	100.0
(参考)中央値(円)	422,616	
(参考)平均値(円)	7,159,131	
10万円未満	16	19.3
10万円以上100万円未満	41	49.4
100万円以上1000万円未満	18	21.7
1000万円以上	8	9.6

(直近で行った差額通知の1人あたりの切替効果額)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	77	100.0
(参考)中央値(円)	1,935	
(参考)平均値(円)	2,207	
100円未満	3	3.9
100円以上1000円未満	14	18.2
1000円以上3000円未満	39	50.6
3000円以上5000円未満	15	19.5
5000円以上	6	7.8

(全体データ)

番号	通知対象	切替率 (%)	1か月あたりの切替効果額(円)	切替者1人当たりの切替効果額(円)
1	慢性疾患で自己負担減額が200円以上の被保険者。	9	612,475	1,143
2	慢性疾患で軽減効果100円以上の加入者。	20	42,700	1,770
3	慢性疾患で自己負担額が100円以上の被保険者・被扶養者。	75	1,826,100	2,265
4	慢性疾患で自己負担軽減額が500円以上の加入者。	59	308,407	4,673
5	平成30年第2回:生活習慣病や慢性疾患などで先発医薬品を服用している被保険者で自己負担軽減見込み額が250円以上(75・76歳は100円以上)、前年度事業で切替率3%以上の医薬品。	38	201,722,012	2,263
6	慢性疾患の者を含む4か月に2回以上の処方受診者及び本人月額差額600円以上の全加入者。	31	241,690	2,039
7	慢性疾患、アレルギー性疾患、胃炎で年間差額が64歳未満5,000円以上、65歳以上・未就学児2,000円以上。	26	2,443,310	5,231
8	慢性疾患で①15才以上・100円以上、②15才未満・1円以上。	51	—	—
9	30歳以上の慢性疾患で自己負担軽減額が300円以上の被保険者。	28	3,950,000	7,050
10	40歳以上慢性疾患で自己負担軽減額が1,000円以上の被保険者。	79	—	—
11	慢性疾患で自己負担軽減額が500円以上の被保険者。	—	—	—
12	20歳以上、慢性疾患で自己負担軽減額が100円以上の被保険者・被扶養者。	—	—	—
13	平成30年度2回目通知の対象①慢性疾患、生活習慣病などの治療薬を服用、②年齢が18歳以上③軽減可能額が医科レセプトの場合600円以上、調剤レセプトの場合50円以上。	27	170,527,920	1,627
14	慢性疾患で自己負担軽減額が600円以上の被保険者・被扶養者。	29	511,000	3,136
15	慢性疾患で200円以上の差額が見込める被保険者。	48	422,616	604
16	慢性疾患で自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	12	519,565	902
17	生活習慣病・慢性疾患等の薬剤の投与を受けた、自己負担額が100円以上、18歳以上の被保険者。	—	—	—
18	生活習慣病を中心に慢性疾患で、自己負担軽減額が300円以上の被保険者。	5	84,586	1,691
19	慢性疾患で自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	15	484,078	676
20	アレルギー疾患及び生活習慣病で自己負担軽減額が1,600円以上。	11	174	2,089
21	生活習慣病・花粉症で軽減額500円以上の被保険者及び被扶養者。	12	318,000	2,287
22	7歳以上のアレルギー剤使用者で差額1,000円以上及び40歳以上の生活習慣病剤使用者で差額1,000円以上の加入者。	51	266,357	1,352
23	生活習慣病やアレルギーに関する薬剤で自己負担の差額が500円の被保険者。	—	—	—
24	A.ターゲット薬効(アレルギー用薬・生活習慣病治療薬)の切替差額200円以上 B.A以外で、0~59歳:差額500円以上、60歳以上:差額100円以上。	60	2,650,000	1,500
25	花粉症・アレルギー性疾患・生活習慣病で自己負担軽減額が300円以上の被保険者及び被扶養者。	47	1,047,257	5,605
26	自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	—	33,138,000	3,013
27	自己負担軽減額が300円以上の被保険者。	34	123,962	1,333
28	自己負担軽減額が250円以上/3ヶ月の加入者。	48	88,872	734
29	自己負担系減額が300円以上の被保険者。	32	225,790	5,132
30	自己負担軽減額が1000円以上の被保険者被扶養者。	63	4,946	2,826

【保険者】

番号	通知対象	切替率 (%)	1か月あたりの切替 効果額(円)	切替者1人当たりの 切替効果額(円)
31	差額100円以上	30	136,255	2,620
32	自己負担軽減額が2000円以上。	13	100,000	—
33	20歳以上で6か月の自己負担軽減額が500円以上の加入者。	68	93	1,277
34	自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	27	315,731	0
35	自己負担軽減額200円以上の加入者。	56	168,758	235
36	自己負担軽減額200円以上	29	74,340	1,770
37	自己負担軽減額が100円以上の被保険者及び被扶養者。	9	8,719,288	2,750
38	自己負担軽減額が500円以上の被保険者。	11	18,409	800
39	自己負担軽減額が250円以上の加入者。	52	—	—
40	ジェネリック医薬品に切り替えた場合、100円以上の財政効果額の得られる者。	—	—	—
41	自己負担軽減額が300円以上の加入者。	21	270,263	5,586
42	平成30年6月～8月診療分のうち差額が合算で500円以上の被保険者。	53	889,611	—
43	自己負担軽減額が300円以上の被保険者及び被扶養者。	4	22,800	1,325
44	自己負担軽減額が100円以上で20歳以上の被保険者。	37	582,908	1,963
45	自己負担軽減額が600円以上の者。	31	14,292	1,299
46	自己負担軽減額が500円以上の被保険者。	17	209,285	4,971
47	自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	30	15,080,000	3,017
48	軽減率100円以上	62	64,700	770
49	全年齢で軽減可能額が100円以上の被保険者。	—	4,430,305	—
50	自己負担軽減額が300円以上の加入者。	—	—	—
51	自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	—	—	—
52	自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	34	2,573,291	1,937
53	自己負担軽減額が上位17,000位以上の被保険者。	26	1,664,970	2,882
54	①抽出薬効:アレルギー用薬と血液凝固阻止剤。	55	231,000	3,800
55	がん、精神疾患を除く、自社製品を除く300円以上軽減する加入者。	62	264,873	—
56	GE切替効果上位3薬効の軽減額100円以上、それ以外の薬効の軽減額1000円以上。	42	212,046	910
57	特定疾患を除く自己負担軽減額が300円以上の被保険者。	47	636,700	94
58	4歳以上で差額が100円以上の加入者。	20	196,380	2,485
59	35才以上。効果額300円以上または直近に後発品が発売された先発品を服薬。	12	285,000	4,230
60	公費及びがん・精神疾患患者を除き、3ヶ月分の診療で267円以上の削除額がある上位500名。	9	26,605	81

【保険者】

番号	通知対象	切替率 (%)	1か月あたりの切替 効果額(円)	切替者1人当たりの 切替効果額(円)
61	連合会設定パターン3	12	239,015	1,299
62	がんと精神疾患を除く、すべての疾病で自己負担軽減額が300円以上の加入者。	—	—	—
63	癌、精神疾患薬を除く最低差額金額が10円。	7	155,470	1,746
64	抗アレルギー服薬者または精神疾患服薬者。	20	500,000	2,500
65	がん、精神疾患以外の患者で、自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	—	—	3,000
66	7歳以上の加入者で10割での年間軽減額が6,000円以上。	31	434,280	621
67	循環器官用薬、消火器官用薬、血液凝固阻止剤、糖尿病用剤、鎮痛・鎮痒・収斂・消炎剤で自己負担軽減額が100円以上で20歳以上の被保険者。	11	528,188	447
68	癌・精神疾患の医薬品を除く、医科入院外レセプト及び調剤レセプト。	45	4,672,347	3,358
69	ジェネリック医薬品を使用した場合の医療費削減額が大きい者から順に一定数。	64	1,285,352	5,021
70	自己負担軽減額300円以上かつ30歳以上の被保険者で1ヶ月の投薬日数が14日以上投与されている薬剤を対象。	13	1,565,763	1,705
71	国保連パターン2(循環器官用薬、消化器官用薬、血液凝固阻止剤、糖尿病用剤)を服薬する20歳以上で100円以上の切替効果のある被保険者。	10	259,507	76
72	切り替え効果の高い上位1500人。	28	577,841	1,933
73	癌、精神疾患を除く疾患で、自己負担軽減額が300円以上の組合員。	45	1,188,732	1,425
74	16歳以上で、自己負担額が50円以上の減額が見込める被保険者。	71	5,815,142	1,832
75	自己負担軽減額が100円以上の40歳以上の被保険者。	22	15,295,000	2,926
76	削減効果高い上位150,000件の被保険者。	59	35,469,063	1,132
77	自己負担軽減額が200円以上で20歳以上の被保険者。ただし、一度発送した方は、次回の対象から除き、次々回から再度対象となります。	5	117,230	1,584
78	6ヶ月間に2回以上処方を受け、200円以上(50歳以上は1円以上)の軽減が見込まれる組合員。	18	714,497	837
79	AGへ切替前の先発薬利用者。	40	77,680	3,820
80	20歳以上で自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	3	13,440,805	332
81	Q3と同じ。 (Q3:薬効コード211.214.217.218.245.396.264)	—	—	—
82	20歳以上で自己負担軽減額が100円以上の被保険者。	85	3,682,000	3,123
83	35歳以上で、自己負担額の差額が500円以上の組合員及び被扶養者(ただし、精神疾病及び癌を除く)。	36	417,567	2,359
84	Q3回答の対象者①のうち同性の双子を除く。 (Q3:入院処方、悪性新生物及びHIVに対する処方を除き、14日以上投薬に関する処方実績(毎年4・5月診療分)において① 切替差額上位者約10000名 ② ①以外で15歳未満で、かつ切替差額が100円以上の上位者約2000名。)	41	—	2,113
85	処方日数14日以上、自己負担軽減額100円以上、18歳以上。	20	482,670	1,986
86	令和元年7月通知対象者の令和元年8月審査分について。	5	492,003	4,170
87	レセプト件数の4%。	3	40,937	3,149

3. その他の取組について

Q4. (Q2-1で「機関紙やwebサイトでの啓発」「希望カードや希望シールの配布」、「啓発パンフレットやリーフレットの配布」、「その他」を選択した方)

差額通知以外の使用促進の取組について、それぞれ工夫していることがあればお答えください。(自由意見)(任意回答項目)

【機関紙やwebサイトでの啓発】

定期的に機関紙、広報紙、HPに掲載し啓発 等

【希望カードや希望シールの配布】

差額通知発送時や保険証一斉更新時に希望シールを同封、機関紙とともに同封、新規被保険者に発行 等

【啓発パンフレットやリーフレットの配布】

保険証の更新時や差額通知送付時にリーフレットを同封 等

4. 今後の取組等について

- Q5. 後発医薬品の使用促進に関する今後の取組予定について、お答えください。(自由意見)
(任意回答項目)

差額通知書発送事業の継続実施、WEB サイト等での周知、希望シールの送付、差額通知対象の見直し 等

- Q6. レセプトデータを活用し、後発医薬品の使用状況の分析を行っている場合は、分析内容をお答えください。(自由意見)(任意回答項目)

年齢階層別・性別、薬効別 等

- Q7. 後発医薬品の使用促進に関するご意見について、お答えください。(自由意見)(任意回答項目)

医療機関(医師)のご協力、患者の不安感等の払拭 等

- Q8. 東京都では、保険者協議会と連携して、各保険者が取り組んでいる効果的な保健事業について横展開を行っています。本アンケートでご回答をいただきました、貴保険者における差額通知の効果額のデータや取組事例について、他保険者への提供の可否について、お答えください。(1つ選択)(必須回答項目)

	回答数	構成比(%)
回答者数(n)	252	100.0
提供できる	148	58.7
提供できない	104	41.3